

1月21日開催 南山小学校区みんなでまちづくりトーク 反省点と対応策

反省内容等	対応策（案）
<ul style="list-style-type: none"> • 時間の超過（特に発表） 	<p>タイムキーパーを設け、発表者に残りの発表時間が分かるよう表示する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 意見のグルーピングを行ったが、とりまとめの方法について事前にファシリテーターと調整しておけばよかった。 	<p>事前にファシリテーターとのとりまとめの方法について、調整する時間を設ける。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 冒頭で、ワークショップのゴール（目的）について話があるとよかった。 • 1人での時間及び進行管理が大変だった。メンバーのフォローがあったため助かった。 • 全体での時間アナウンスはあったが、議論に夢中になり聞こえていなかった。グループ内でも、もう少し強めにアナウンスすればよかった。 • ファシリテーターがいない、経験者もない班では多少意見の出方が違ったのかな、人数差もテーマも違いがあったのでそれもあるとは思いますが、そういう印象を持ちました。 	<p>ゴール（目的）について、わかりやすく説明する時間を設ける。</p> <p>ワークショップについて、可能な限り、2人一組体制で取り組めるよう準備する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 知り合いのメンバーが固まっていたため、内輪の話し合いになってしまった。席の配置についても考慮が必要だった。 	<p>趣旨を説明し、知り合い同士がバラバラになるよう受付で振り分ける。難しい場合にはグループ内で席を隣同士にしない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 福祉は難しいテーマであったため、意見が出にくいようだった。 	<p>福祉のテーマについて、グループを設けるかも含め検討。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 防災を2グループに分けたが、結果的に人数が少なかったため、グループの移動などを投げかけてもよかった。 • 各グループの人数に偏りが見られたため、バランスを見ながら促せるよう柔軟な対応ができると良かった。 	<p>人数状況によっては人数調整を促すような時間を設ける。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 資料が多い講習会の場合、事前にYouTubeなど、動画での限定公開をしたものを、各自視聴してから当日に臨むなど出来るのではないかと思います。 	<p>資料の事前配布等、写真付き資料等でイメージをつかんでいただくようにする。</p>